

狭山市立富士見小学校

農業体験



全学年

特色

- 本校の敷地内にある農園で作付面積約350㎡を使って、全校児童714人が年間を通して様々な作物を育てている。
- 土づくりは大人が行うが、雑草ぬきや植え、水やり、追肥、間引き、収穫は自分の手で行う。収穫した野菜は学校で調理して食べたり、家庭に持ち帰り食べたりしている。

児童の感想

- 収穫したさつまいもを家で焼いて食べたら、甘くてとてもおいしかった。自分で植えてほったお芋は世界一だと思った。（2年）
- 大根が大きく育つには、「間引き」というのが必要なんだと知った。1つの作物を育てるには、もう1つの命が犠牲になっていることを学んだので、好き嫌いせずに何でも食べようと思う。（6年）

成果

- 作物を育てるには、水やりや雑草ぬきなどの世話が必要なことを体験を通して全児童が学ぶことができた。
- 農業体験をし、収穫の喜びを味わうことで農業や食に対する関心や意識が高まった。また、命あるものを大切にしようとする心が豊かな人間関係を築く基礎となっている。